

開示から見る 取組みの質

WWFジャパン

森林グループ

南 明紀子

akiko.minami@wwf.or.jp

※セミナーの中でご紹介した企業開示事例は削除しています。具体例を知りたい方は、お気軽にお問合せください

ポイント：開示内容と取組みの質



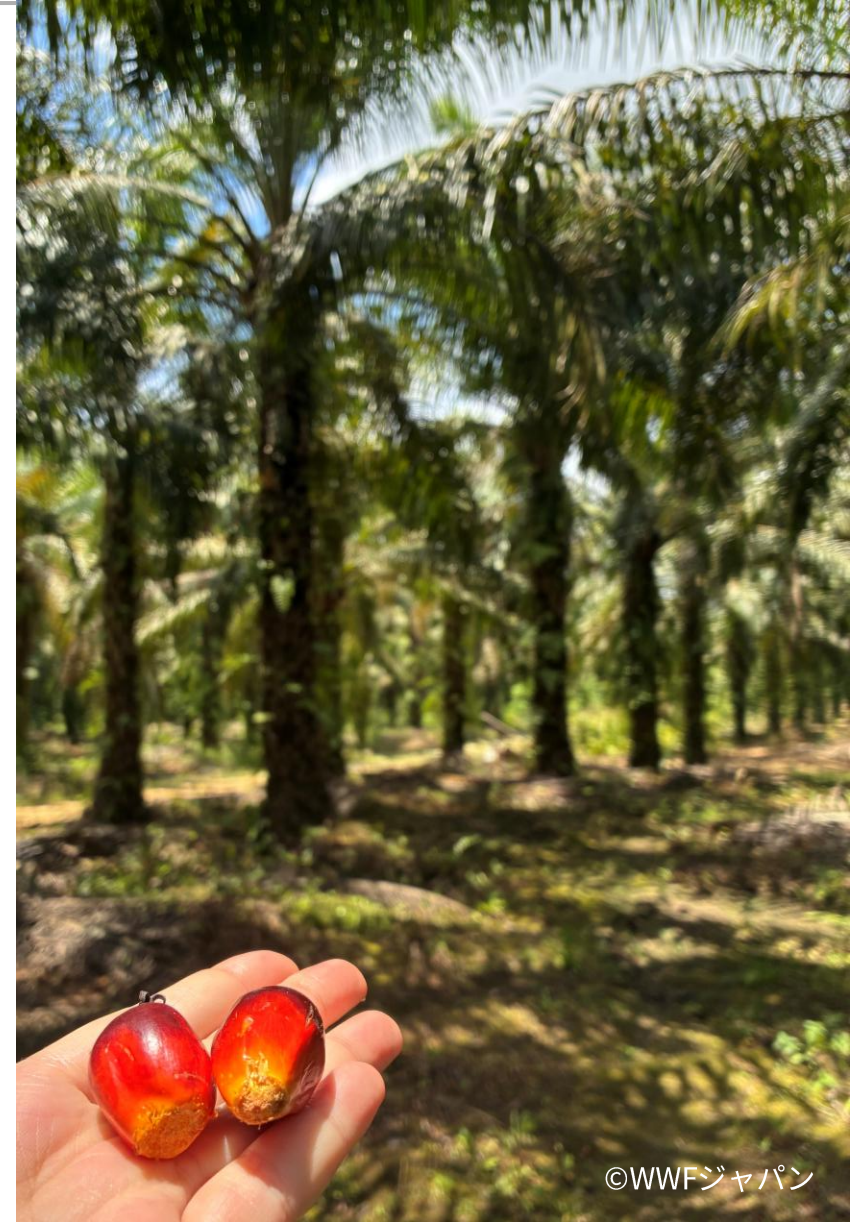
■調達方針の文言は十分か

必要なキーワードが入っているか
スコープの設定は適正か

■調達方針の文言＝取組内容 ではない

方針達成のために、何をしているか
どのように確認しようとしているか

■実践していないことは開示できない



1) 基礎編：目標が設定されているか



必要な文言が設定されているかどうか：

- ✓ 森林破壊ゼロ／土地転換ゼロ（国際的な必須条件）
- ✓ 達成目標年
 - ※森林破壊ゼロは遅くとも2030年目標
- ✓ カットオフデートの設定
- ✓ 「森林」など言葉の定義

※特に下3点の記載がない方針が目立つ
 ※方針策定に関わるガイダンスはAFiに詳細あり
<https://accountability-framework.org/the-accountability-framework/>

	クライテリア		社名
	A) 合法性の確認 B) NDPE C) 森林破壊ゼロ D) HCVの開発禁止	E) HCSの開発禁止 F) 泥炭地の開発禁止 G) FPICの遵守 H) 搾取の禁止	
★★★★	A)～H)すべての要素が方針に含まれている ※1：B)の記載がある場合、C)、F)、H)をカバーするものとする。逆も同じ ※2：D)、E)、G)の記載がある場合、C)をカバーするものとする。逆はあてはまらない		味の素(株)、伊藤忠商事(株)、花王(株)、カルビー(株)、(株)J-オイルミルズ、(株)資生堂、日清オイリオグループ(株)、日清食品ホールディングス(株)、不二製油(株)、三井物産(株)
★★★	A)～H)の要素のうち2個以上足りない		明治ホールディングス(株)
★★	B)、またはC)いずれかの記載はあるが、★★★★以上には相当しない		(株)コーセー、ライオン(株)
★	B)、またはC)の記載がないものの、A)、G)、H)のいずれかの記載がある、またはFLAGにおいてパーム油を対象として森林破壊ゼロのコミットメントをしている		アサヒグループホールディングス(株)、(株)ADEKA、イオン(株)、麒麟ホールディングス(株)、(株)すかいらーくホールディングス、(株)セブン&アイ・ホールディングス、東洋水産(株)、フジパングループ本社(株)、ミヨシ油脂(株)、山崎製パン(株)、(株)ロッテ
☆	上記いずれにも該当しない		植田製油(株)、(株)カネカ、(株)ゼンショーホールディングス

事例：日清オイリオグループ(株)

https://www.nisshin-oillio.com/company/sustainability/sustainability/procurement_policy_palm.html



日清オイリオグループはこれまでもお客様のニーズに基づいて持続可能なパーム油を提供することに継続的に取り組んできました。今後もこの取り組みを継続していくことに加えて、サプライチェーンの改善と持続可能性に配慮したパーム油の調達を推進していきます。

また、下記の森林破壊ゼロ、泥炭地における新規開発ゼロ、先住民、労働者への搾取ゼロ（NDPE：No Deforestation, No Peat, No Exploitation）へのコミットメントを遵守する、トレーサブルで透明性のあるパーム油サプライチェーン構築に向けて取り組みます。

- ・高炭素貯蔵（High carbon stock：HCS）林の伐採を行わず、保護価値の高い（High conservation value：HCV）地域に新たに植林をしない。
- ・泥炭地の新たな開発は深さに関係なく行わず、泥炭土壌にある既存のパーム農園についてはBest Management Practices（BMPs）での使用を推進する。
- ・播種や植え替えのための整地には火を使用せず、整地で発生した廃棄物の焼却も行わない。
- ・既存の事業における温室効果ガスの排出を確認し削減する。
- ・先住民族および地域社会の権利を搾取することはせず、彼らが法を適用し、地域社会または慣習上の権利を有する土地の運営において、自由意志に基づき事前の十分な情報を与えられた上での合意（Free, Prior, Informed Consent：FPIC）の原則を尊重する。
- ・性的指向、性別、宗教、人種、障害、年齢、政治、婚姻状況、または国籍に基づく差別は行わない。
- ・従業員の結社の自由と団体交渉権に関し、各国での法規制を遵守する。
- ・あらゆる形態の違法、強制、拘束、児童労働を排除する。
- ・移住労働者、契約労働者、派遣労働者を含む全ての労働者の責任ある採用活動を実施する。
- ・ゆすりや贈収賄を含む汚職を防止し禁止する。
- ・事業活動を行うそれぞれの国や地域で適用される法令を遵守する。なお、人権に関しては国際的に認められた人権と各国や地域の法令の間に矛盾がある場合は、国際的な人権の原則を尊重する方法を追求する。

事例：(株) J-オイルミルズ

https://www.i-oil.com/sustainability/materials2/policy_palm_oil_rev.pdf



<前文>

アブラヤシの果実から搾油されるパーム油は、我々の生活に欠かせない油脂であり、当社の事業活動を支える重要な原材料のひとつです。J-オイルミルズグループは、「サステナブル調達方針・調達基準」に基づき、原産国の環境保全に配慮し、人権を尊重するとともに、食を支える企業として、パーム油の安定供給の社会的責任を果たすため、持続可能なパーム油調達を実現します。

<コミットメント>

当社は、以下のコミットメントに従って、森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ（NDPE：No Deforestation, No Peat, No Exploitation）の実行を目指します。

2-1 森林破壊

- ・皆伐に加担しません。
- ・保護価値の高い（HCV*1）森林、炭素貯蔵量の多い（HCS*2）森林の破壊に加担しません。

2-2 泥炭地新規開発

- ・泥炭地の開発に加担しません。また、泥炭地における既存のパーム農園については、ベスト マネジメント プラクティス(BMPs)*3 のガイダンスを尊重します。
- ・整地や開墾のために火を利用することに加担しません。

2-3 温室効果

既存事業からの温室効果ガス排出量を段階的に削減します。

2-4 人権尊重

国連食糧農業機関（FAO）が定める free, prior, informed consent（FPIC）*4 を尊重し、先住民、地域住民の権利を侵害しません。

2-5 腐敗防止

腐敗防止事業活動において、国連腐敗防止条約*5 を遵守し、贈収賄などの腐敗行為の防止を徹底します。

2-6 法令遵守

事業を展開する国や地域の法令及び国際法令を遵守します。

3 トレーサビリティ

サプライヤーと連携し、農園、搾油工場、精製工場へのトレーサビリティの確保に努めるとともに、小規模農園がサプライチェーンに参画する機会促進に取り組みます。

4 苦情処理手順

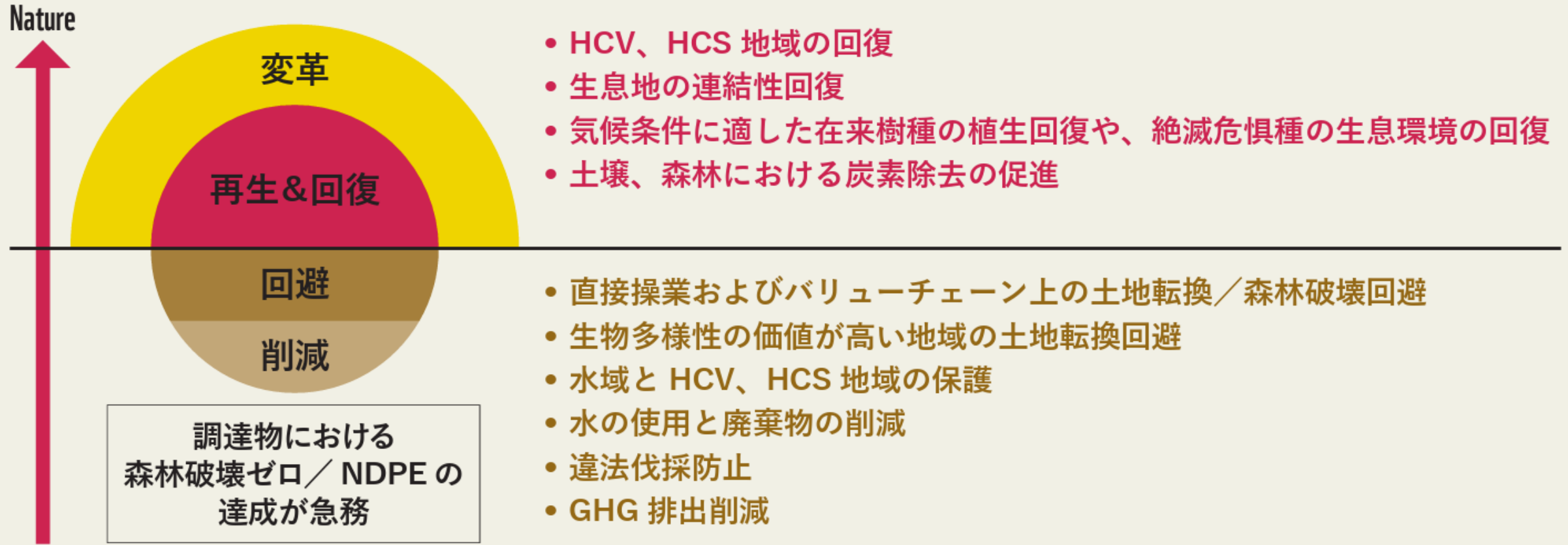
全てのステークホルダーがパーム油サプライチェーンにおける苦情を通報できる、苦情対応の手順を確立します。苦情処理手順は、匿名性の確保に配慮し、報復の恐れなく、パーム油サプライチェーンにおける苦情を通報できるよう明確で透明性のある公平な体制を構築します。

5 目標・報告

コミットメントの実現に向け、数値目標、アクションプランを策定し、定期的の実績の報告を行います。

6 運用

サプライヤーおよび関連するステークホルダーと協働し、本方針に則した取組みを実行します。
本方針は社会状況の変化等に応じて改訂いたします。



※森林破壊ゼロ/土地転換ゼロの達成は、ネイチャーポジティブに向けたスタート地点。まずは早急にマイナスをゼロに戻す必要がある

※次のステップ、もしくは同時並行で生産現場の改善に投資をしていくことが重要（今回調査ではカバーしていない）

参考資料

パーム油の場合

つづく

【回復＋再生】

再生農業等を通したランドスケープでの環境改善

【軽減＋回復】 サプライチェーン上の生産現場における農法改善プロジェクトへの投資

設問によっては★★★★★がここ
↓↓↓

【リスク回避＋軽減】 リスクのあるコモディティに対する持続可能な調達への改善、GHG排出削減、水の利用削減

【リスク回避】 リスク・機会の把握を目的とした調達物のトレーサビリティ確認

※農畜産物のリスク・機会は、場所に依存するため、優先順位を決めるためにも、トレーサビリティがまず必要

2) 方法編：目標達成をどう確認するか



目標 森林破壊ゼロ／NDPE

確認方法例（KPI／行動計画）

- 農園において森林破壊ゼロ／NDPEを確認
- 物理的な認証油を購入（RSPOであればMB以上）
- クレジット100%対応

→ 認証油への100%切替はゴールではない

→ 目標達成を確認するには、農園での確認が必要＝農園までのトレーサビリティが必須

	クライテリア
★★★★	物理的な認証油を購入することに加え、農園までのトレーサビリティを確認し、土地利用の経年変化と比較することでカットオフデイト以降の森林減少が無いことを確認するなどの具体的な取組がある
★★★	物理的な認証油を購入することに加え、農園までのトレーサビリティを確認し、認証制度では足りない部分は、第三者を入れるなど客観性が担保された農園のNDPEチェックを行う運用としている
★★	物理的な認証油を購入することに加え、農園までのトレーサビリティを取る運用としている
★	物理的な認証油を購入することに加え、サプライヤーと連携して何らかの取組を進めている
☆	NDPEの確認方法が明記されていない（認証油の購入のみを含む）

3) 方法編：目標達成をどう確認するか（人権面）



環境面：森林破壊や泥炭地開発

- ➡ 認証油の購入でも確認可能な場合がある（RSPOのセグリゲーション以上、など）

人権面：FPICや強制労働など

- ➡ 認証審査だけではカバーしきれない場合もある
- ➡ 問題が無いことの証明は困難
- ➡ グリーバンスの導入によりサプライチェーン上の問題を拾える体制を作ることも重要



事例⑥：花王(株)

<https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/news/2022/pdf/20220831-001-01.pdf>



✓ 一般的な苦情申立窓口あり

➡ 末端の農園の声は届きにくい

✓ 窓口とは別に、サプライチェーン上の小規模農家向けグリーンバンスメカニズムを設置（右図）

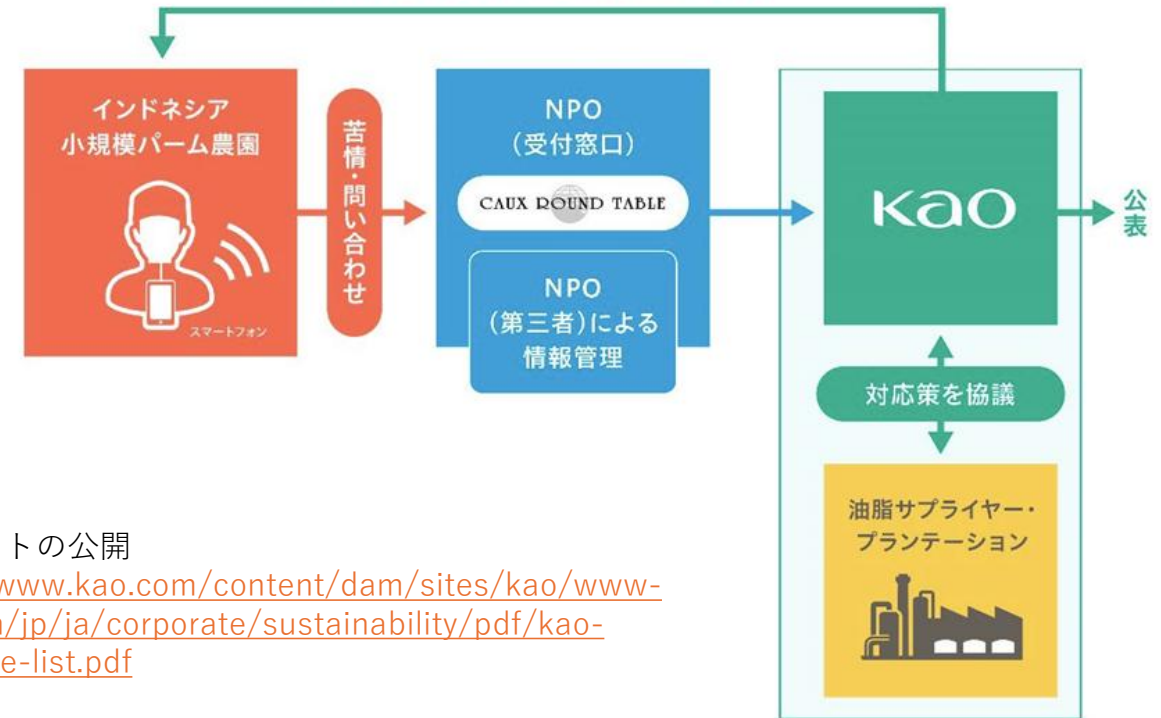
➡ まだ対象農家数に限りはあるが、現場の問題をすぐ拾える体制としては有効

➡ リスク管理としても有効

【花王 小規模パーム農園グリーンバンスメカニズム】

【花王 小規模農園グリーンバンスメカニズム】

- 小規模農園との直接対話
- 苦情・問い合わせ内容の状況確認と対応
- NPO/サプライヤーと協働でフォローアップ



問合リストの公開

<https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/kao-grievance-list.pdf>

まとめ



©WWFジャパン

■**認証原料への切替がゴールにはならない**
森林破壊ゼロ／NDPEを目標とした適正な
KPIの設定が重要

■**調達方針の文言＝取組内容** ではない
方針達成のために、何をしているか
どのように確認しようとしているか

■**実践していないことは開示できない**
開示内容を確認すれば、矛盾が見つかる
改善方法や見つけ方を知るには、専門家へ



together possible™



Working to sustain the natural
world for the benefit of people
and wildlife.

together possible™

panda.org

WWF® and ©1986 Panda Symbol are owned by WWF. All rights reserved.
WWF, 28 rue Mauverney, 1196 Gland, Switzerland. Tel. +41 22 364 9111
CH-550.0.128.920-7